

エラー発生時の対処方法

ポップアップブロックの設定

1). Microsoft Edge の場合

- ① Microsoft Edge (Chromium 版) のウィンドウ右上の「×」のすぐ下にある「…」をクリックして、表示されたメニューの「設定」をクリックします。



- ② 画面左側のメニューの「プライバシー、検索、サービス」をクリックして、表示された画面の「サイトのアクセス許可」をクリックします。



- ③ 表示された画面の「すべてのアクセス許可」をクリックします。



④ 表示された画面の「ポップアップとリダイレクト」をクリックします



- ⑤ 「ポップアップの送信とリダイレクトの仕様を許可しました」の右にある、「サイトの追加」ボタンをクリックします。
※「ポップアップの送信とリダイレクトの仕様を許可されていません」の「追加」ボタンをクリックしないよう注意してください。



- ⑥ 次の URL を入力し「追加」ボタンをクリックします。

入力する URL : <https://higashiosaka.efftis.jp>



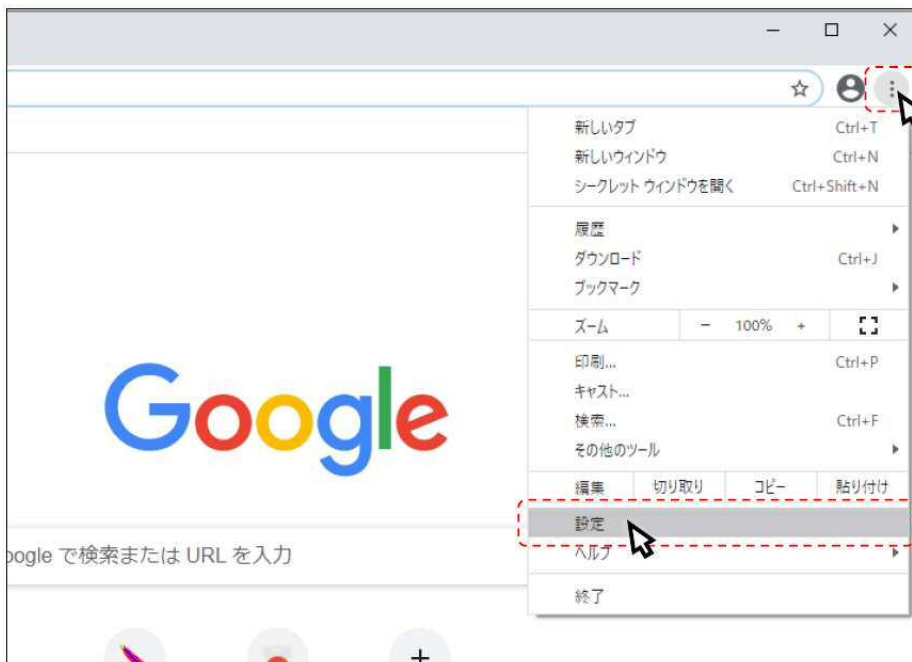
- ⑦ 入力した URL が、「ポップアップの送信とリダイレクトの仕様を許可しました」に追加されていることを確認します。



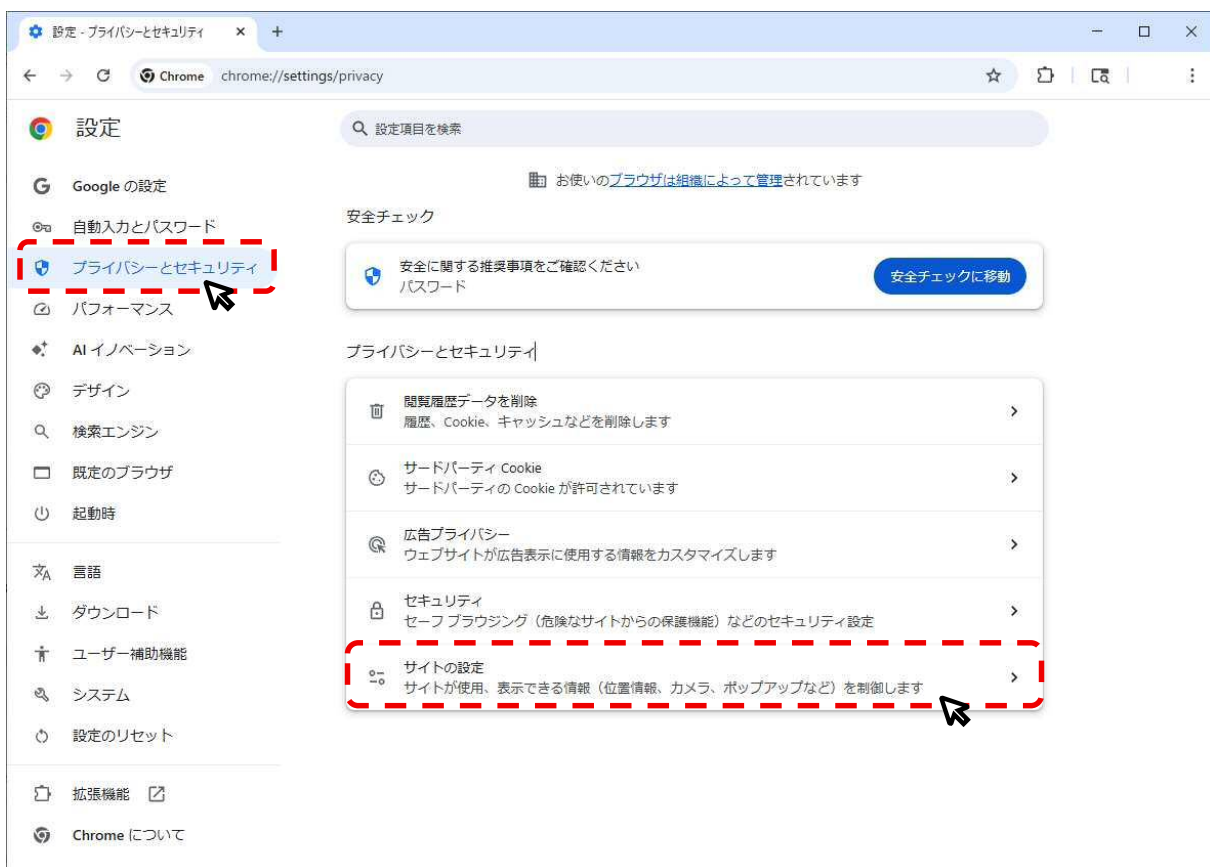
以上で、Microsoft Edge（Chromium 版）での「ポップアップブロックの設定」は終了です。

2). Google Chrome の場合

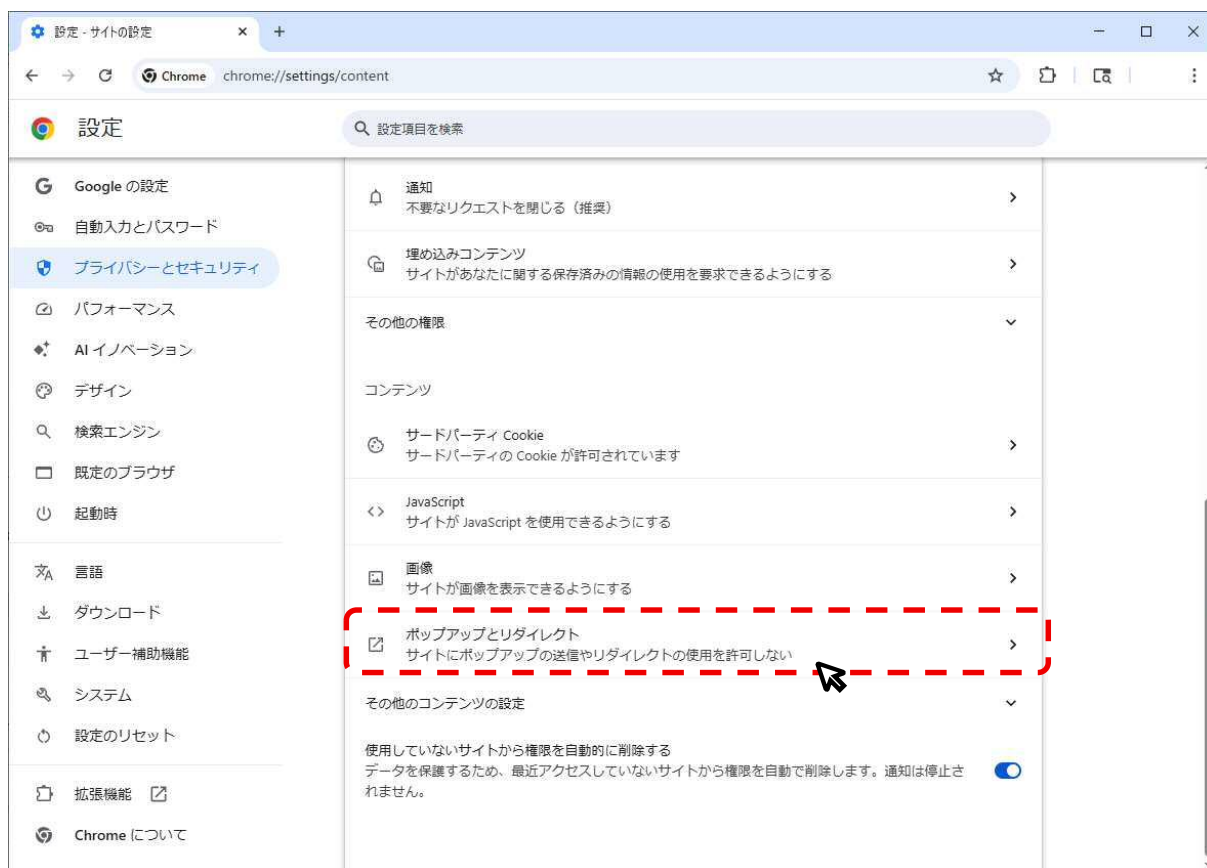
- ① Google Chrome のウィンドウ右上の「×」のすぐ下にある「…」をクリックして、表示されたメニューから「設定」をクリックします。



- ② 画面左側のメニューの「プライバシーとセキュリティ」をクリックして、表示された一覧から「サイトの設定」をクリックします。



③ 表示された画面の「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。



- ④ 「ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト」の右にある「追加」ボタンをクリックします。



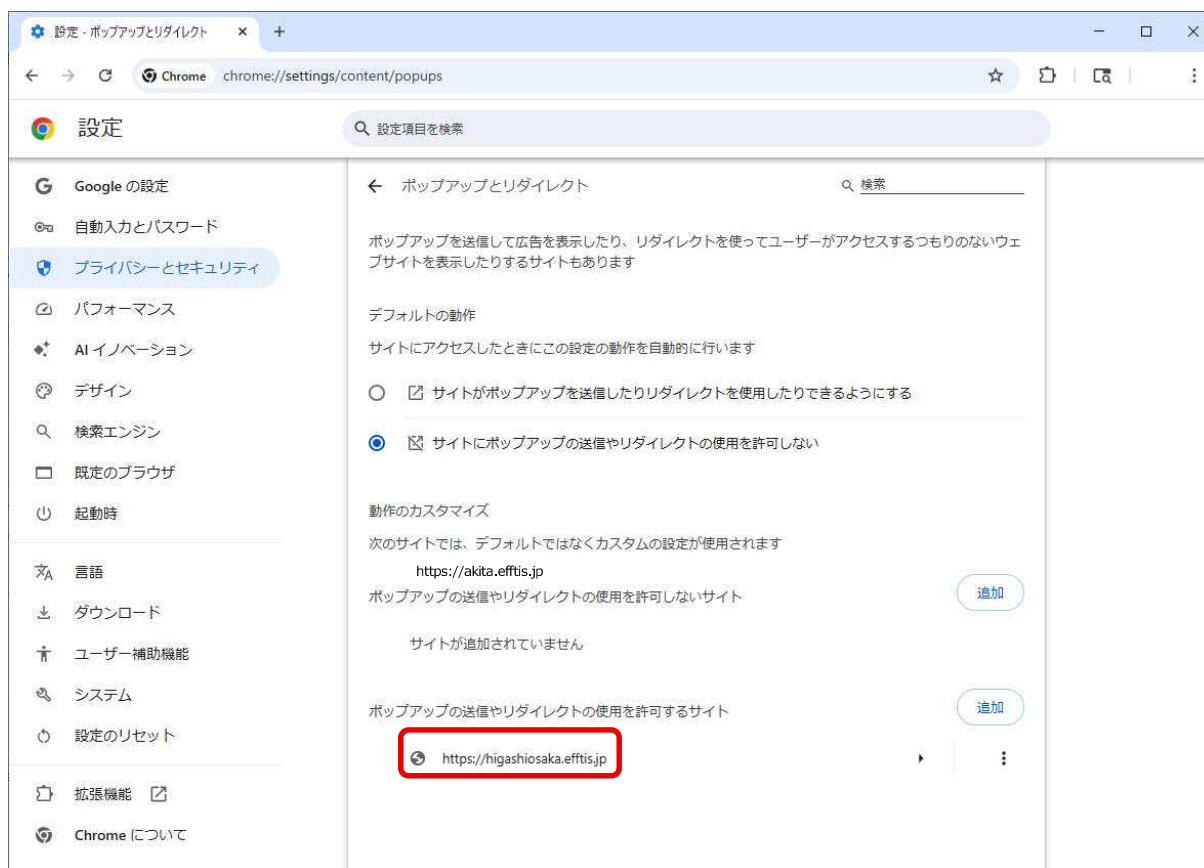
※「ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可しないサイト」欄の「追加」ボタンをクリックしないよう注意してください。

- ⑧ 次の URL を入力し「追加」ボタンをクリックします。

入力する URL : <https://higashiosaka.efftis.jp>



- ⑨ 入力した URL が、「ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト」に追加されていることを確認します。

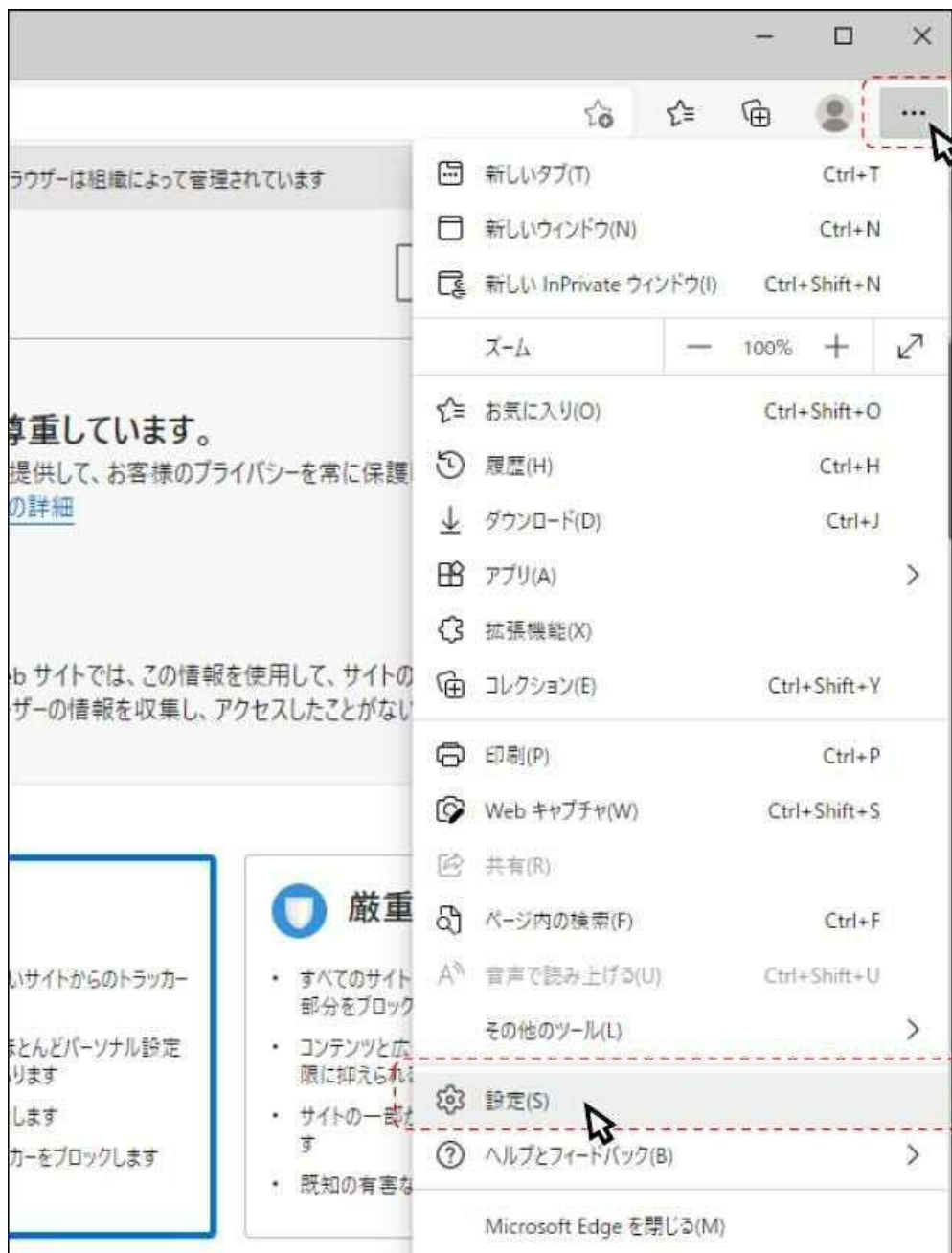


以上で、Google Chrome での「ポップアップブロックの設定」は終了です。

一時ファイルの削除

1). Microsoft Edge の場合

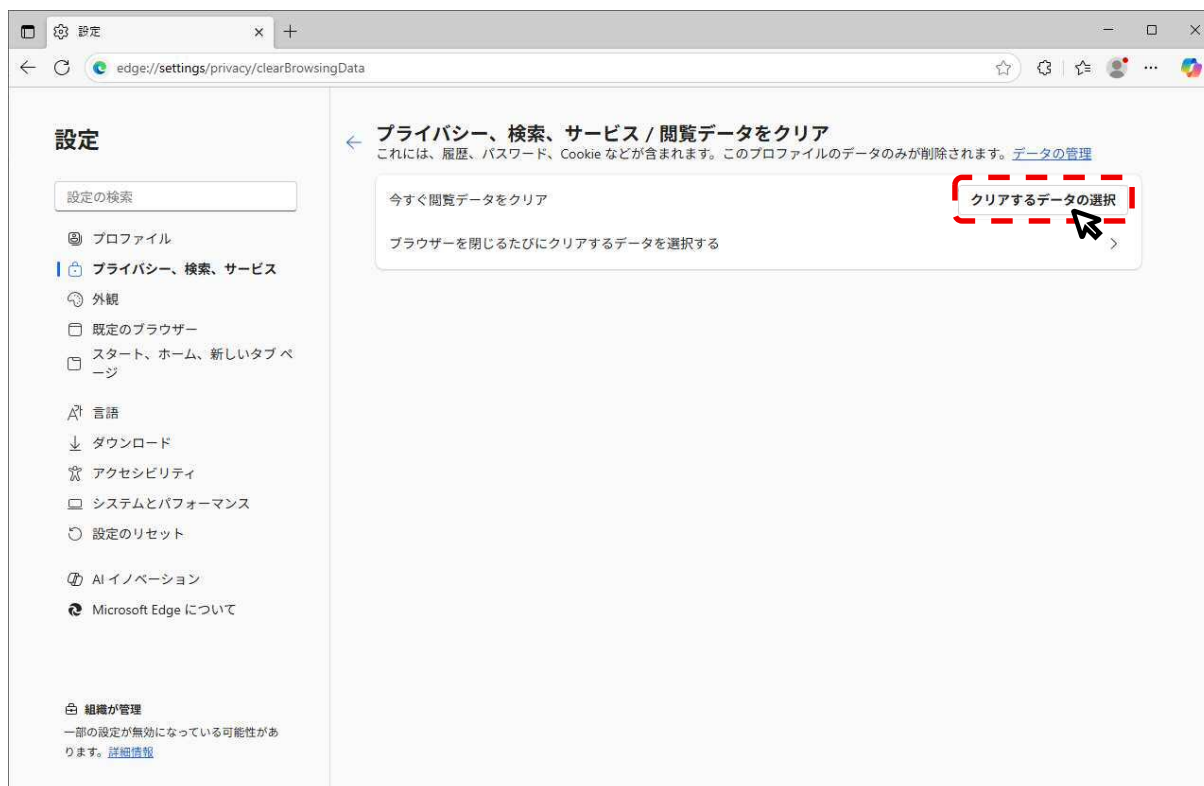
- ① Microsoft Edge (Chromium 版) のウィンドウ右上の「×」のすぐ下にある「…」をクリックして、表示されたメニューの「設定」をクリックします。



- ② 画面左側のメニューの「プライバシー、検索、サービス」をクリックして、表示された画面の「閲覧データをクリア」をクリックします。



- ③ 「クリアするデータの選択」をクリックします。



- ④ 時間の範囲から「すべての期間」を選択し、「閲覧の履歴」、「ダウンロードの履歴」、「Cookie およびその他のサイトデータ」「キャッシュされた画像とファイル」にチェックを入れて、「今すぐクリア」ボタンをクリックします。

閲覧データを削除する

時間の範囲

すべての期間

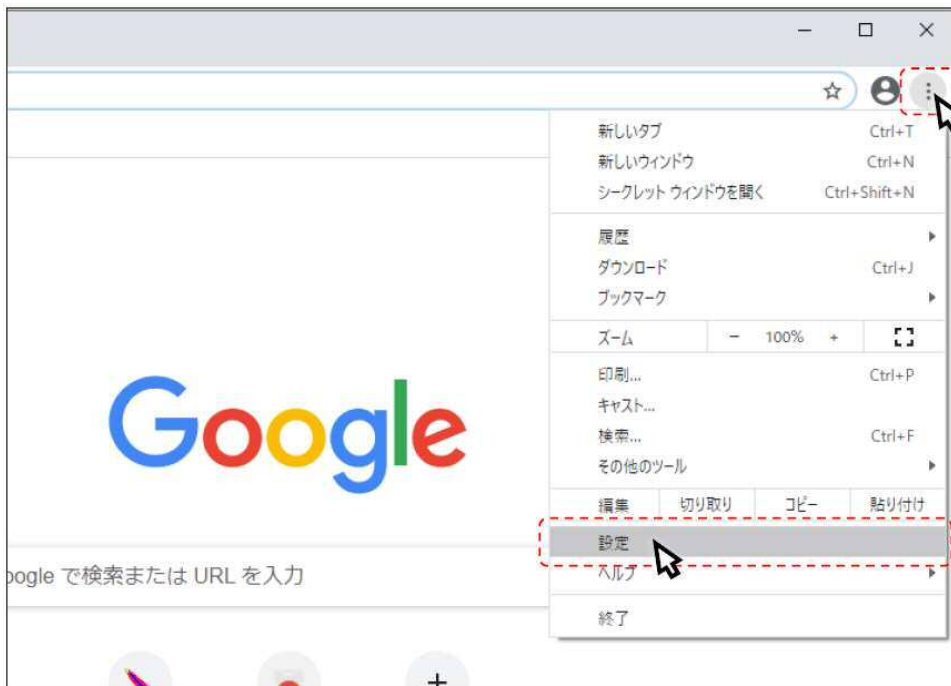
- ☒ 閲覧の履歴
1,047 個の項目。アドレス バーにオートコンプリートが含まれています。
- ☒ ダウンロードの履歴
11 個の項目
- ☒ Cookie およびその他のサイト データ
72 個のサイトから。ほとんどのサイトからサインアウトします。
- ☒ キャッシュされた画像とファイル
96.4 MB 未滿を解放します。一部のサイトでは、次のアクセス時に読み込みが遅くなる可能性があります。
- ☐ パスワード
60 個のパスワード (192.168.6.190、localhost、その他)

キャンセル 今すぐクリア

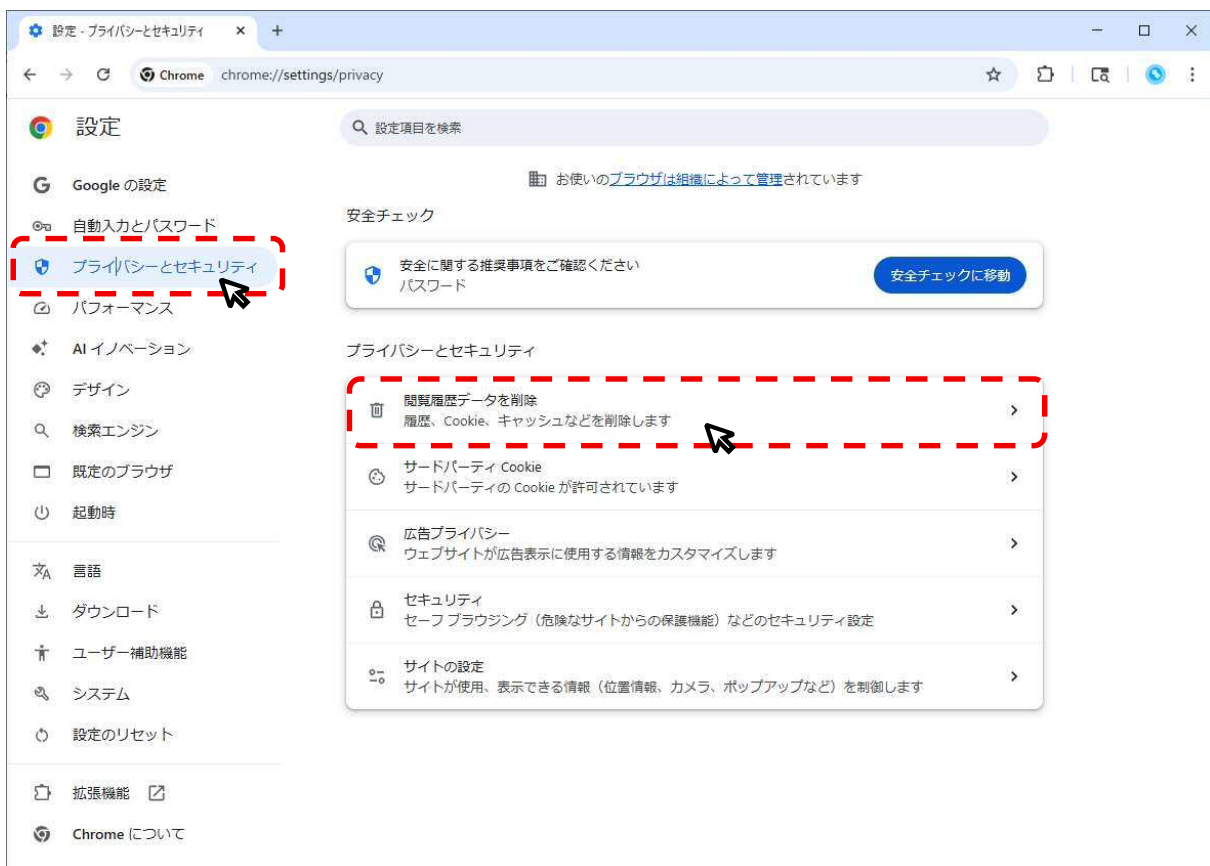
以上で、Microsoft Edge（Chromium 版）での「一時ファイルの削除」は終了です。

2). Google Chrome の場合

- ① 「Google Chrome」のウィンドウ右上の「×」のすぐ下にある「…」をクリックして、表示されたメニューから「設定」をクリックします。



- ② 画面左側のメニューの「プライバシーとセキュリティ」をクリックして、表示された一覧から「閲覧履歴データの削除」をクリックします。



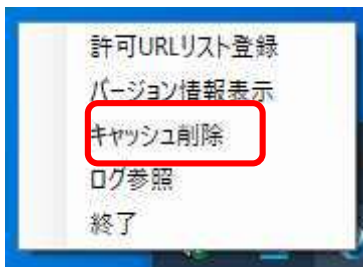
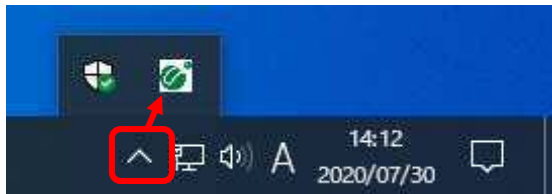
- ③ 「詳細設定」タブを選択します。期間から「全期間」を選択し、「閲覧履歴」、「ダウンロード履歴」、「Cookie と他のサイトデータ」、「キャッシュされた画像とファイル」にチェックを入れて、「データを削除」ボタンをクリックします。



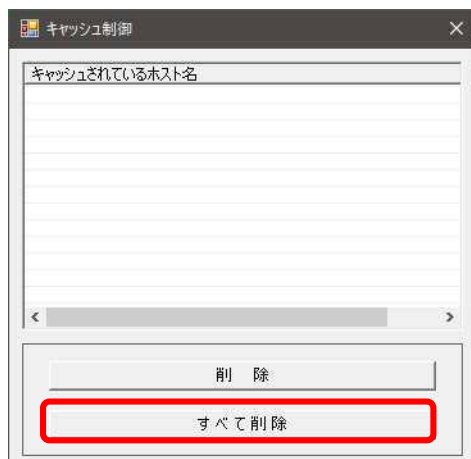
以上で、Google Chrome での「一時ファイルの削除」は終了です。

電子入札補助アプリのキャッシュの削除

- ① 画面右下にある△マークを左クリックにて開き、電子入札補助アプリのアイコンを右クリックしてください。
- ② 表示されたメニューからキャッシュ削除を選択して下さい。



- ③ すべての削除を選択すると確認画面が表示されますので「はい」を押して削除します。



以上で、「電子入札補助アプリのキャッシュの削除」は終了です。